

## 2020年度 長野県岡谷東高等学校シラバス

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	2	学年	3	コース	教養フロンティア（人間系） 健康スポーツ
								必修・選択	選択（C群）
使用教材	教科書	教育出版 書道Ⅲ							
	副教材	参考資料（古典、詩、和歌、俳句等）のプリント							

### 学習目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたって書を愛好する心情を育てる。表現と鑑賞の基本的な能力を伸ばし、感性を豊かにし書写能力の向上を高める。書道文化のついて理解を深める。

### 学習方法

- ・用具・用材に関する基本的知識や扱い方を理解し、表現に応じて使い方を工夫する。
  - ・古典に基づく学習から各書体の特徴を理解し用筆法を学ぶ。
- 字形、線質、全体構成をとらえ表現できるよう添削された作品から課題を見つけ反復練習する。
- ・多様な書風の違いに関心を持ち古典の美を鑑賞する中で、感性を働かせながら創造的な表現法を身につけていく。

### 学習評価

○次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめりとごとの下の評価マトリクスにより評価を行い学年末に5段階の評定に総括します。

<b>①関心・意欲・態度</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体の違いや、字形の取り方に関心を持ち、その表現を身につけようとしているか。</li> <li>・毎時間の練習において意欲的に取り組んでいるか。</li> <li>・よりよい作品になるよう向上心を持ち、字形・線・構成を追求しているか。</li> </ul>
<b>②思考・判断・表現</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作意図を明確にし、工夫した自己表現ができているか。</li> </ul>
<b>③技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体や字形の特徴をとらえ、形式に応じた書き方ができているか。</li> </ul>
<b>④知識・理解</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体、書風の特徴や多様な表現形式を理解する。</li> </ul>

評価方法\観点	評価の観点				備考
	①	②	③	④	
課題の取り組み	◎	◎	○	◎	
課題提出	○	◎	◎	○	
作品の完成度	◎	◎	◎	○	

※表中の◎は観点の中でより重視するポイントです  
 ※それぞれの評価の観点はA、B、Cの三段階で評価します。

### 学習方法等のアドバイスなど

書道Ⅰ・Ⅱで学んだ用筆を生かし、さらに多様な書の表現法を学ぶことを大切にしましょう。古典を鑑賞しその美を感じ、臨書を通して身につけた表現技法を基に、自分の思考や感動を、表現意図をしっかりとって作品制作をしてみましょう。独自の表現を追求しましょう。

## 年間学習計画

学期 時間数	学習内容	学習のねらい	学習活動 【評価方法】
1 学期 22単位時間	オリエンテーション 書体の特徴や変遷についての確認 漢字の書	1年間の授業の見通しを持つ。 これまで学んだ漢字の5書体の特徴を再度理解し、書く文字の字形や線質、全体感を意識した作品制作をする。 古典を基にしながら、自分の思いや書きたい表現を明確にした創作作品を制作する。	学習活動： これまで学んだ漢字の5書体の特徴を再度確認し、自分の書きたい書体で臨書作品を制作する。半切または 半切1/2 作品。 古典を基にしながら漢字の創作作品の制作（1文字から4文字の熟語）。 漢字仮名交じりの書では「ここに響いた言葉、好きな言葉」をテーマにしてどんな思いでどんな線でどう表現したいのかを明確にし、配字、墨の濃淡、文字の大小、余白など、自分の感性を働かせた作品制作をする。 表装の学習では、表具の手順を理解し、作品展示の際により効果的に見せたり作品の補強となることを知る。
2 学期 30単位時間	漢字仮名交じりの書 表装の学習	漢字仮名交じりの書では、感興や意図に応じた表現を構想し、形式に応じて全体の構成を工夫する。自らの思いや感性を生かし、自分らしく個性的な表現を工夫する。表装の学習では、表具の手順を理解し、作品展示の際により効果的に見せたり作品の補強となることを知る。	表装の学習では、表具の手順を理解し、グループで協力し合い、作品を傷めないよう注意して表具を行う。完成したらパネル等に貼り展示する。 刻字の学習では自分の選んだ1から2文字を、書体、書風、全体感、刻し方、彩色を工夫して、個性を出した作品となるよう制作する。 【評価方法】（年間）： ・毎時間の課題において基本的な内容を理解し、その習得のための練習に打ち込んでいるか。 ・作品制作においては基本的技法をもとに自己表現しようとしているか。 ・四つの観点に基づき総合的に評価する。
3 学期 18単位時間	刻字の学習	これまで学習した漢字の書を生かし刻字の作品を仕上げる。書体、書風、構成、刻し方、彩色など各自工夫できるようにする。	【評価方法】（年間）： ・毎時間の課題において基本的な内容を理解し、その習得のための練習に打ち込んでいるか。 ・作品制作においては基本的技法をもとに自己表現しようとしているか。 ・四つの観点に基づき総合的に評価する。